

書牘卷之二（十二）

小作証文

覺

何^國何郡何村字何、貴殿

所持之耕地、今明治何年何月

より来何年何月まで、拙者小

作いたし、御年貢米並諸役

等相勤、作得米何程ツ、年々

何月限相納申へく候、万^萬一

相滞候節ハ、証人^証ニおいて

引受、急度相^辨弁すへく候、

仍而証書^証差入候也、

明治何年何月何日

小作人 何某

証人 何某

何某殿

※漢字は全て新字体に直したが、原文が旧字体に近い書体で書かれている場合は、右脇に旧字体を添えた。

※変体仮名は現行の平仮名に直した。なお、字母に当たる漢字を右脇に添えた。